

HAROiD テレビ向けプライベート DMP を提供開始
～ネット対応を迫られるテレビ局におけるデジタルマーケティングや新規ビジネスモデル開
発を強力にサポート～

株式会社 HAROiD (東京都港区、代表取締役社長:安藤聖泰)は、進む TV の IoT 化や動画配信、さらには放送の同時送信時代を見据えた放送局のデジタルマーケティングや新規ビジネスモデルの開発を推進し、視聴体験をアップデートする放送局向けのプライベート DMP「HAROiD DMP」をリリースしました。オープン DMP ではなく、各放送局ごとに HAROiD が構築するプライベート DMP となります。

具体的には HAROiD が放送局に提供する HAROiD プラットフォームと HAROiD アカウントを通じて取得できるウェブサイトのアクセスログ、テレビの行動履歴や視聴履歴、スマートフォンの動画配信アプリの視聴履歴や操作履歴、さらに様々な放送局独自のメタ情報や番組情報などをもとにして、視聴者を明らかにし、その視聴者に対して最適なコンテンツを提供することが可能になります。

広告配信、広告主のプライベート DMP との連携、各種オープン DMP との連携も予定しております。

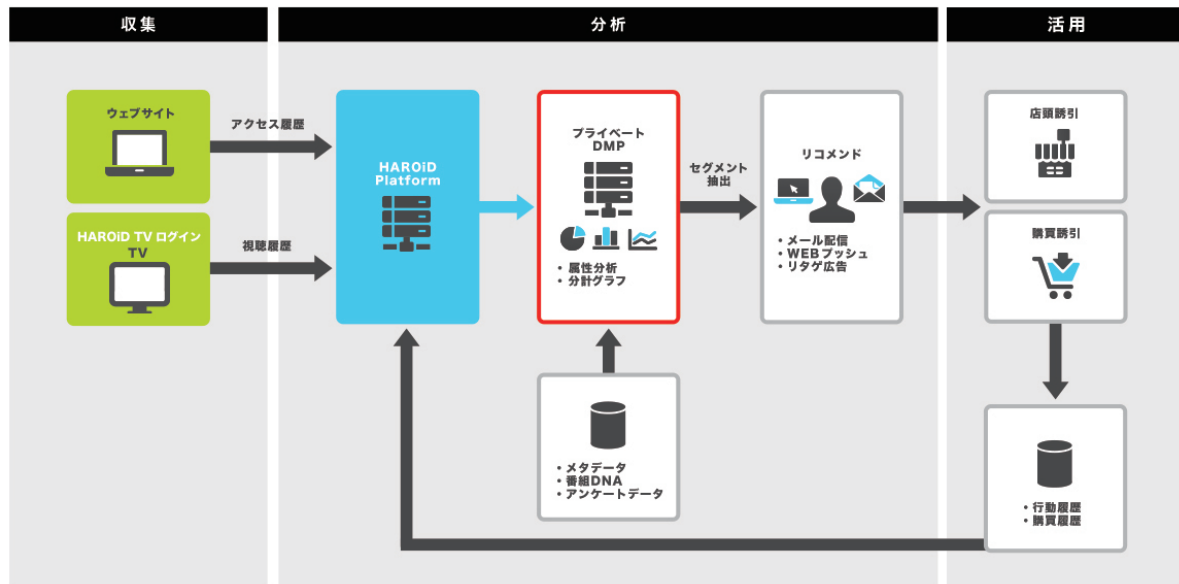
第一弾として、株式会社静岡第一テレビに導入し、総務省 IoT サービス創出支援事業の実証実験に活用します。また、来年春より本格的に多くの放送局への導入を開始します。ローカル局であれば、トライアルとして基本料金月額 5 万円～で提供する予定です。

また本日 2016 年 11 月 16 日(水)から 18 日(金)に幕張メッセにて開催される国内最大の放送機器展「Inter BEE 2016」の Inter BEE CONNECTED の HAROiD ブースでは、この HAROiD DMP の活用もご紹介しています。

※プライベート DMP とは

オープン DMP が他社データを中心としたマーケティングデータの集約とセグメント化が目的であるが、プライベート DMP は自社(放送局)のデータをコアとしています。

HAROiD DMP においては、放送局ごとにプライベート DMP を構築し、放送局をまたぐデータの集約やセグメント化を原則的には除外しています。



活用の一例 (InterBEE でご紹介する事例)

【国際放送機器展Inter BEE展示ブース】

会期:2016年11月16日(水)~18日(金) 10:00~18:00(最終日は17:00まで)

会場:幕張メッセ(千葉市美浜区)

Inter BEE CONNECTED 内 HAROiD ブース ホール7 ブース No. 7105

【本リリースに関するお問合せ先】

株式会社HAROiD

press@haroid.com